

# 地域おこし協力隊が三原で過ごす日々

## みはライフ!

市外から移住して来た9人の隊員が、地域課題の解決に向けて活動中!



今月の担当は  
柴田 将志  
です!

【出身】広島市  
【趣味】料理  
【活動エリア】佐木島  
【活動テーマ】農業振興

▲不知火の収穫風景

佐木島の魅力を  
全国に伝えたい!

佐木島で、島民の皆さんから貸していたいただいた後継者のいない畑や耕作放棄地を整備して、かんきつ類の栽培をしています。これまでに、不知火や温州みかん、はるみや数種類のレモンの苗木などを育ててきました。

令和6年度から、ふるさと納税やメディアを通して佐木島の魅力を発信することに力を入れています。これからは、島の景観を維持し、後の世代につなげることを目標に、観光客や市内の学生を対象にした職場体験や、かんきつに限らない地元の特産物を用いた特産品を生産できる加工場の建設を進めていきます。

農業を軸として地域振興ができるよう、今後も真摯に取り組んでいきます。



▲ふるさと納税の返礼品として出荷

地域おこし協力隊の活動は市公式noteで!



☎ 地域企画課  
☎ 0848-67-6011

# あんしん通信

（ ） 事故や犯罪、ゼロカーボンやごみに関する情報など、生活に役立つ情報をお届けします。



☎ 生活環境課 ☎ 0848-67-6194 FAX 0848-64-4103

## 【その10】

### 環境にやさしいまちづくり

#### 太陽光パネルや蓄電池などの設置費用の一部を補助します

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界各地で自然災害が発生し、市でも集中豪雨によって、甚大な被害が発生しました。

市は、地球温暖化の主な原因である二酸化炭素の排出量を2050年までに実質ゼロにすることをめざし、令和3年度に「三原市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。二酸化炭素排出量削減のため、家庭では節水・節電やごみの削減、事業所では照明のLED化や再生可能エネルギーの活用など、さまざまな取り組みが行われています。

そのような取り組みを支援するため、太陽光パネルや蓄電池など、二酸化炭素排出量の削減効果が期待される設備を設置する市民や市内の事業者を対象に、補助金を交付しています。

ゼロカーボンシティを実現するためには、一人ひとりの意識と行動が必要です。補助金を活用し、環境にやさしいまちづくりに取り組みませんか?

### 今月のポイント

- 行政、市民、事業者が一体となりゼロカーボンシティを実現しよう
- 申請はお早めに! 予算がなくなり次第終了します

補助対象設備はこちら



☎ 市

### 令和7年のSNS型投資詐欺・SNS型ロマンス詐欺発生状況

● 広島県内 ( )は前月比  
発生件数：98件 (+28件)  
被害総額：約9億1,756万円 (+1億7,164万円)

● 三原警察署管内  
発生件数：2件 (+1件)  
被害総額：約594万円(+43万円)

※令和7年4月末。

# 市長 × スタートアップ

三原に新たな風を！

講師陣には、各分野の専門家に加えて、実際に起業に挑戦している人々、さらには市出身の事業家の皆さんにも協力していただいています。刺激的な学びの場となるはずです。

SCCの卒業生がすでに、介護や農福連携の事業、飲食業や宿泊業など、さまざまな取り組みを着実に生み出しています。SCCが盛り上がりげれば、三原に

「挑戦する人材」が必要です。新しい価値を創造し、地域に根ざしたビジネスを展開していく。その土壌を育てる場こそが、SCCです。

市の経済の活性化、そして将来の雇用創出のためには、「挑戦する人材」が必要です。新しい価値を創造し、地域に根ざしたビジネスを展開していく。その土壌を育てる場こそが、SCCです。

セミの声にぎやかに、夏本番が近づいているのを感じます。市では7月から、令和7年度の「スタートアップ創出シティカレッジ(通称:SCC)」がいよいよ開講します。この取り組みは、地元での起業や社内ベンチャーの挑戦を後押しし、地域経済の新たな担い手を育てることを目的としています。

5年目を迎えるSCCは、年々進化を続けています。ぜひ市民の皆さんも、SCCの挑戦に注目していただき、ともに未来をつくっていきましょつ。

明るい話題が増えると考えています。そして何より、「挑戦できる」「夢を形にできる」という前向きな空気が、少しずつ広がっていくことを、私は確信しています。



▲市庁



▲スタートアップ創出シティカレッジ(SCC)の様子

## Kia Ora! MIHARA

ニュージーランド出身の  
国際交流員コラム

● Vol.22 ●



CIR(国際交流員)  
ジェイク・ロコブ



ハット山スキー場

### ニュージーランドでスキーを楽しむ

ニュージーランドでは6月から冬が始まり、雪に覆われた山々は有数のスキー場として知られています。そのため、多くのニュージーランド人は、この時期特に人気のアクティビティであるスキーを楽しみます。

クライストチャーチ市出身の私は、高校時代に毎年開催される学校のイベント「Ski Day」<sup>スキーデー</sup>で、人生初めてのスキーを体験しました。最初はバランスを取るのに苦労し、何度も転倒しましたが、一度も転倒することなく斜面を滑り降りられるようになった時の喜びは、忘れられない思い出となりました。

それ以来、毎年上の写真のハット山スキー場で、友人とスキーやスノーボードを楽しんでいました。

知ってる?

## ニュージーランド

### スキー選手の夏期トレーニング場

北半球が夏本番を迎える7月ごろ、ニュージーランドではスキーシーズンが始まっています。南島のコロネット・ピーク・スキー場などでは、アメリカやスイス、オーストリアなどのスキー選手や代表チームがトレーニングに励んでいます。

Information for foreign  
nationals in Mihara

◀ CIRが三原の  
魅力などを発信中! ▶

Instagram & Facebook



◀ Instagram

Facebook ▶



●多言語相談窓口(市役所本庁4階)  
問 経営企画課 (TEL 0848-67-6270 FAX 0848-64-7101)